

2016年2月映画興行部門興行成績速報

2月の東宝グループ会社の興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

661 スクリーン **興行収入** **4,118,583,370 円** **(前年比 111.7%)**

2月主要稼働作品

『オデッセイ』『ステイブ・ジョブズ』『キャロル』『SHERLOCK/シャーロック 忌まわしき花嫁』『Born in the EXILE ～三代目 J Soul Brothers の奇跡～』『黒崎くんの言いなりになんてならない』『X-ミッション』『信長協奏曲(ノブナガコンツェルト)』『スター・ウォーズ/フォースの覚醒』『映画 妖怪ウォッチ エンマ大王と5つの物語だニャン!』『パディントン』『ピンクとグレー』『残穢【ざんえ】—住んではいけない部屋—』『ブラック・スキャンダル』『さらば あぶない刑事』『orange-オレンジ-』他

1月から2月までの東宝グループ会社の累計興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

興行収入 **9,529,212,360 円** **(前年比 116.7%)**

※ここでの東宝グループとは、TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、(株)東京楽天地、オーエス(株)、スバル興業(株)以上5社が経営する映画館をいいます。

★TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、スバル興業(株)は、東宝(株)連結子会社
(株)東京楽天地、オーエス(株)は、東宝(株)持分法適用関連会社

※共同経営館(44スクリーン)のTOHOシネマズ分を含みます。

※「興行収入」とは映画館の入場料収入を指します。売店収入などは含まれておりません。

以 上